



# 北経連トピックス

URL <http://www.hokkeiren.gr.jp/>  
E-mail [info@hokkeiren.gr.jp](mailto:info@hokkeiren.gr.jp)

2016年12月28日(水)発行 No.202  
発行 北陸経済連合会  
編集 小山 徹・越野 理恵  
Tel:076-232-0472 Fax:076-262-8127

2016年11月1日(火)～

12月22日(木)の活動

## ○ マッチングハブ北陸

11月1日(火)～2日(水) 金沢市

北陸地域の産学官金連携マッチングイベントとして北陸先端科学技術大学院大学主催(北経連後援)でANAクラウンプラザホテル金沢およびホテル日航金沢において開催された。北経連ブースでは産業振興活動の取組や冊子「北陸のシェアトップ100」を紹介した。(担当:平田)

## ○ 金沢大学 見学会

11月2日(水) 金沢市

総合対策委員会・先端技術推進委員会合同での金沢大学角間キャンパス見学会及び意見交換会を開催し、久和会長、水口先端技術推進委員長、澁谷同副委員長、齋藤総合対策副委員長をはじめ21名が参加した。

山崎光悦学長による大学の概要説明に引き続き、先端的研究で世界をリードする次の4テーマについて担当の研究責任者からそれぞれ説明をいただいた。

- ・「がん進展機構の本態解明を目指す研究」
- ・「世界最先端の顕微鏡技術で拓くナノサイエンス研究」
- ・「高品質フライアッシュ製造技術とフライアッシュコンクリートの社会実装」
- ・「バイオイノベティブデザインと組紐技術による革新的機械材料の創成」

その後、各研究室、実験現場で詳細な解説を受けながら見て回った。見学後は、大学関係者と大学研究の課題等について意見交換した。(担当:木戸)

## ○ 日中経済交流会議

11月21日(月)～22日(火) 富山市

中国東北3省、1自治区と日中東北開発協会が主催、北陸AJECが共催、北経連が後援として参画し日中経済交流会議が開催された。

「新たな中国東北振興と日中経済協力による課題の解決」をテーマとし、企業視察、展示商談会、全体会議、分科会、日中個別VIP会見、地域視察等を行った。参加者は日本側207名、中国側225名の合計432名となった。

(担当:平)

## お知らせ

### 講演会開催案内

北経連では講演会「ものづくりにおけるデザイン」を開催する。 ※参加費無料

(株)平野デザイン設計 取締役会長 平野 拓夫氏(元金沢美術工芸大学学長)を講師に迎え、ものづくりにおけるデザインの重要性についてご講演いただく。

○開催日時:11月17日(火)13:30～15:00

○開催場所: 金沢都ホテル

【参加申込問合せ】TEL 076-232-0472 平田

## ○ 北陸地方経済懇談会

11月8日(火)

金沢市

(一社)日本経済団体連合会との第43回北陸地方経済懇談会を、ホテル日航金沢で開催した。『地方創生のモデル地域を目指す北陸～GDP600兆円経済の実現に向けて～』を基本テーマに、経団連から榊原定征会長はじめ約30名、当連合会から約130名が出席した。

懇談会前に経団連主催の昼食懇談会では、谷本石川県知事を招き北陸新幹線の開業効果や石川県の創生について意見交換が行われた。

懇談会開会あいさつで久和会長は、北陸地域のポテンシャルを活かした更なる発展への取組みとして第四次中期アクションプランを紹介した。また、北陸新幹線は北陸地域の成長戦略の基盤として、金沢開業の経済効果に言及するとともに、大阪までの早期全線整備の必要性を訴えた。

続いて経団連榊原会長は、経団連の活動報告を行い、「政治との連携を取りながら、山積する重要政策課題に全力で取り組んでいく」とし、最重要政策課題の一つとして地域経済の活性化を挙げた。

懇談会では、「住みたい、働きたい、魅力あふれる北陸」のテーマのもと、地域力向上と産業振興に関する問題提起・意見交換が行われ、基幹産業の育成・ライフサイエンスや高機能新素材など先端分野の強化が北陸地域産業の活性化に資するなど提言があった。

「日本海国土軸の中核としての役割と、人や企業を惹きつける北陸」のテーマでは、社会基盤整備と広域観光推進に関する問題提起・意見交換が行われ、陸海空路の整備は観光のみならず、人流・物流の活性化や大規模災害時の代替機能の役割として重要との指摘があった。

記者会見で、榊原会長は、北陸新幹線について「地域経済への効果は絶大であり、大阪延伸は強く求められる」と述べた。

午前中経団連は、小松市内のコマツ栗津工場を訪問し、IoT技術を活用したスマートコンストラクションなど視察した。(担当:本多)

## <北陸新幹線>

## ○ 北陸新幹線敦賀・大阪間ルートに関する記者会見

11月15日(火)

国土交通省による北陸新幹線のルート案に関する調査結果が11月11日に公表されたことを受け、久和会長は記者会見で、以下の点から「小浜・京都ルート」の支持を表明した。

- ・整備計画ルートに沿った案であること
- ・京都・大阪まで乗換えすることなく、速達性に優れること
- ・乗車料金が安いこと

あわせて「北陸-中京圏の利便性確保」、「2030年頃までの一日でも早い大阪までの全線整備実現」を求めると述べた。(担当:本多)

## ○ 北陸新幹線合同中央要請

11月17日(木)

東京都

北陸新幹線建設促進同盟会・北陸新幹線建設促進北信越五県議会協議会・北陸経済連合会合同による中央要請活動を実施した。当連合会からは久和会長、深山・高木副会長が参加し、富山・石川・福井県知事・県議長のほか、長野・新潟・京都・大阪府知事、長野県議長代理、関西広域連合、関西経済連合会らとともに自民党茂木政調会長・下村幹事長代行および公明党井上幹事長・漆原中央幹事会会長ならびに石井国交大臣らに、以下の要請を行った。

### 【要望要旨】

- ①金沢・敦賀間について、敦賀までの更なる前倒し開業を含め、早期開業に最大限努力すること。
- ②敦賀・京都・大阪間のフル規格による整備方針およびルートを平成28年中に決定すること。
- ③これらを実現するため、平成29年度予算について十分な建設財源および調査費用を確保すること。
- ④沿線の自治体に過度の負担が生じないよう、負担に見合う受益の確保を図ること。
- ⑤並行在来線が存続できるよう、新たな仕組みを構築するとともに、支援施策の充実を図ること。
- ⑥公共事業費の拡充・重点配分、JRからの貸付料の活用など、幅広い観点から財源を確保すること。

(担当：本多)

## <委員会活動>

## ○ 平成28年度第1回国際交流推進委員会

11月7日(月)

金沢市

金沢都ホテルにおいて、「平成28年度第1回国際交流推進委員会」と「北陸AJEC第53回企画部会」を合同開催し、国際交流推進委員会委員5名、北陸AJEC企画部会委員19名が出席した。

江守国際交流推進委員長、丸屋企画部会委員長の挨拶に続いて、「平成28年度事業活動報告」、「福井県立大学、地域経済研究所、アジア経済研究所との共同研究」「第17回北陸(日本)・韓国経済交流会議開催結果」、「ベトナム投資貿易セミナーin HOKURIKU、ベトナム政府高官との経済交流会議 in 金沢」を事務局が説明した後、各事項について意見が交わされた。

(担当：平)

## ○ 平成28年度第1回先端技術推進委員会

11月28日(月)

金沢市

金沢都ホテルにおいて、「平成28年度第1回先端技術推進委員会」が開催され、水口委員長以下、大学学長など16名の委員が出席した。

平成28年度の実業実施状況・評価・方向性について事務局が説明した後、人材育成支援や更なる産学連携などについて意見が交わされた。

続いて、石川県立大学熊谷学長から「6次産業化の方策を探る～日本の発酵、北陸の発酵～」についてご講演をいただいた。

(担当：平田)

## ○ 新入会員のご紹介

### 【ホクセイ金属株式会社】

代表取締役 富田 昇太郎

(業種：商社)

〒933-0023

富山県高岡市末広町1番8号

Tel：0766-25-4300 Fax：0766-25-5811

## ○ 平成28年度第1回社会基盤整備委員会

12月2日(金)

金沢市

金沢都ホテルにおいて、「平成28年度第1回社会基盤整備委員会」が開催され、山崎委員長以下13名の委員が出席した。

平成28年度の実業実施状況について事務局が説明した後、北陸新幹線の大阪までの全線整備に向けた取組みや道路・港湾・空港の利活用について意見が交わされた。

また、本年度実施事業である福井県立大学地域経済研究所講師江川誠一氏による調査研究「北陸新幹線金沢開業効果の検証と課題の整理」について中間報告が行われた。研究は来年3月に取りまとめの予定。(担当：本多)

## ○ 平成28年度第1回広域観光推進委員会

12月13日(火)

金沢市

平成28年度第1回広域観光推進委員会を金沢都ホテルで開催、加藤委員長をはじめ、11名の委員が出席した。

委員長の挨拶の後、今年度の事業計画の実施状況・評価、及び平成29年度事業の方向性について事務局が説明した。

説明を受け、「大学生観光まちづくりコンテストにエントリーしている大学の先生の中には、ブランド戦略で実績のある方もいるので、事前にしっかり調べるべきだ。」「インバウンドは、北陸3県を回遊させることが大事。」など意見が交わされた。

委員会終了後、(一社)北陸経済研究所の藤澤主任研究員より、北陸のイメージアップ調査に関する中間報告が行われた。

(担当：小林)

## ○ 平成28年度第3回総合対策委員会

12月16日(金)

金沢市

平成28年度第3回総合対策委員会を開催し、稲垣委員長をはじめ15名の委員が出席した。

今回は「平成28年度事業計画の実施状況・評価および平成29年度事業活動方針案」「北陸経済連合会50周年事業について」について審議を行った他、経団連との地域連携協定、女性部会のひとり親家庭の北陸移住推進、北陸新幹線の敦賀以西ルート検討状況等が報告された。

説明を受け、「敦賀以西ルートが固まった後は大阪までの全線整備をどれだけ短縮できるかに注力すべき」「男女問わず活躍できることが重要」「域外から人や産業を呼ぶだけでなく、域内から育つ仕組みも必要」など幅広く意見が交わされた。

(担当：前田)

## ○ 第333回常任理事会

12月21日(水)

金沢市

第333回常任理事会をANAクラウンプラザホテル金沢にて開催、久和会長をはじめ20名が出席した。

会長は、冒頭のあいさつの中で、「前日の12月20日に北陸新幹線敦賀・大阪間ルートが、与党PTにより、小浜京都ルートに決定した。大阪延伸に向けては、小浜京都ルートの詳細ルート決定、予算確保等、課題は多く、引き続き、2030年頃までの全線整備実現に向けて取り組む」と述べた。

続いて、「平成28年度事業計画の実施状況・評価及び平成29年度事業活動方針案」「創立50周年記念事業」等について事務局から説明し、出席者間で意見が交わされた。

いただいたご意見を踏まえた平成29年度事業活動方針は新春経済懇談会にて発表する。

(担当：小山)